



食料王国しらおい
イメージキャラクター
【のん】

イランカラテ! おいしい給食の後は、アイヌ文化について学ぼう!

皆さんは「イオマンテ」という言葉を知っていますか? 聞いたことはあっても、どういう意味なのか説明できる人は少ないかもしれません。イオマンテとは、山から連れ帰って大切に育てた子グマやシマフクロウのヒナなどの魂をカムイモシリ(神の世界)に送り返す、アイヌ民族にとって最高の儀式のことで、その多くがちょうど今頃の時期に行われます。近年では平成元年~6年に白老流のイオマンテの復活と若い世代へ伝えるため、旧アイヌ民族博物館で大きなイオマンテを3度行っています。その時の資料を参考に、今回はイオマンテで用意される道具や料理の写真を集めてみました。下の枠線内の①~⑧に書かれたアイヌ語の道具名や料理名はどの写真に当てはまるか考え、写真の左上の()に①~⑧の番号を書き入れてみよう!

- ①シト(団子)、②サツチェブ(干しサケ)、③チタラペ(文様入りのゴザ)、
- ④トノト(神に捧げるお酒)、⑤エムシアツ(刀掛け帯)、⑥ヘペレアイ(子グマの神に持たせるお土産用の矢)、
- ⑦イナウ(人間の言葉を正しく神に伝え、神にとっては宝物)、⑧ボツボツ(カボチャやマメ、トウモロコシなどの混ぜ煮)

(⑧)



キハダの実や砂糖、塩、タラの脂も加える

(⑥)



矢がらを付けて子グマにこの矢を射る

(②)



神へのお土産

(⑦)



捧げる神によって材料や形が異なる

(④)



材料はヒエと麴

(①)



こめやイナキビで作る

(⑤)



オスの子グマの神へ刀と共に捧げる

(③)



文様入りゴザの上に座ってはいけません